

榎尾川ダムに対します意見陳述をさせていただきます。予定地の横山地域の12町会の町会連合会長を務めさせていただいております。私は、横山の発展という観点からも含めて、榎尾川ダムの推進の立場から意見を述べさせていただきたいと思っております。

私たち横山に住む者は、地域が緑に囲まれ、かつ豊かな古里であり、かつこれからの世の中でもますます発展していくことを願っています。また、その責任も今を生きる我々の生活にかかっていると思っております。豊かな古里をつくっていくためには、その基本となる住民の安全が確保されることが大事なことは言うまでもありません。安心な暮らしがあってこそ、よりよい古里づくりのために努力しているという気持ちが生まれる次第でございます。そのためには、大雨による浸水などの被害の心配がなくなることがぜひ必要になります。根本的な治水対策である榎尾川ダムの建設が重要だと考えております。

片や、都会に住んでいる人たちを中心に、緑の豊かな地域にダムのようなものをつくらなくてもいいのではないかと、自然破壊だという意見もあるようでございます。しかし、ダムが計画されている山々は、私たちの先祖が長年にわたり一本一本植林し、営々として守り育ててきたものだとすることを忘れないでいただきたいと思っております。

先祖の努力により現在の豊かな森林が守られ、その結果、動物や植物が育てられてきたことは言うまでもありません。委員の皆様方も現地を見ていただいたと聞いております。ダムができる地域の山々の状況もわかっていただいていると思っております。豊かな自然や緑がある陰には、植林した木々に間伐や枝打ち、下草刈りなどの過酷な森林作業が黙々として続けられてきた事実があることを私は声を大にして皆様方にお訴えをする次第でございます。残念ながら今の時代にはそのような努力を維持することは、経済的にも社会的にも大変困難になってきております。これからはますます難しくなっていくことでしょう。次の時代でも、同様な管理を行い、良い森林を守っていく自信はありません。

先ほど申し上げましたように、近年は山には多くの方々が入れ、そのせいいかどうかはわかりませんが、山火事が頻繁に起こっております。今年も5月には山火事が発生して、消防署、自衛隊まで総出動して、鎮火まで4日4晩もかかった次第でございます。消火活動は、下流の池からポンプ十数台を中継して、やっと行えるありさまでございました。消火作業に当たった地域住民が、ダムができて、貯水池があればよかったのと思ったような次第でございます。

さらに、湖岸の道路が整備されれば、消火活動も素早く行えますし、日々の山の管理も行いやすくなります。そうなれば、これからはきちんとした山の管理ができるのではないかと考えております。そのような整備なしには、現在のような豊かな自然を将来にわたって維持していくことができないと思っております。

ダム工事によって今の森林は少し減少しますが、長期的に考えれば、ダムによるメリットの方が大きいと確信しております。山を守ることだけではありません。地域に住む私たちは、別途に進められております農用地の総合整備事業や、リージョンセンター建設計画なども併せて、豊かな古里となるよう願っている次第でございます。

私たち住民もまちづくりに対して自分たちでも主体的に取り組みたいと考えております。平成9年から126名で南部まちづくり推進協議会という組織をつくっております。そこではダムなどの事業を活用して、どうしたら地域をよくしていけるかということを真剣に考え始めております。

例えば、ダムについても知ろうということで、婦人会の皆様方と一緒に、つくられてから20年以上もたちました、槇尾川ダムと同規模のダムを見学いたしました。実際に自分たちの目でダムを見て、関係者の方々の話を聞いてみると、ダムや貯水池の大きさ、ダムが安全につくられていることや、貯水池の周辺状況や地域の取り組みなどが実感としてわかってきたという意見が多く出てまいっております。今後も、自分たちの古里を自分たちで良くしていくために、積極的に考え、活動していきたいと考えております。

そのような矢先に、建設事業再評価ということで槇尾川ダムが審議されることを聞きました。地元の我々としましては、これまでに申し上げました安全なまちづくり、豊かな古里にしていこうという思いも含め、ダム建設推進に関する住民の気持ちを結集することを考え、今年の6月から横山地域12町会でダム建設推進の署名活動を行いました。その結果、わずか1カ月で4,000人以上の方々の賛同を得られましたので、7月2日には、杉本府議会議長、稲田和泉市長同席のもと、横山大阪府知事に署名とともに、地元の思いを伝えております。その際に知事さんからも「治水のためにぜひ必要なダムだ」とおっしゃっていただき、一同気持ちを大きく、強くした次第でございます。

どうか委員の皆様には、私たちの古里への思いを理解していただき、地域を豊かにしていくという観点からも、槇尾川ダム事業の推進という判断をされるよう、強く希望いたしまして、私の意見陳述を終わりたいと思います。